

災害アクション カードについて

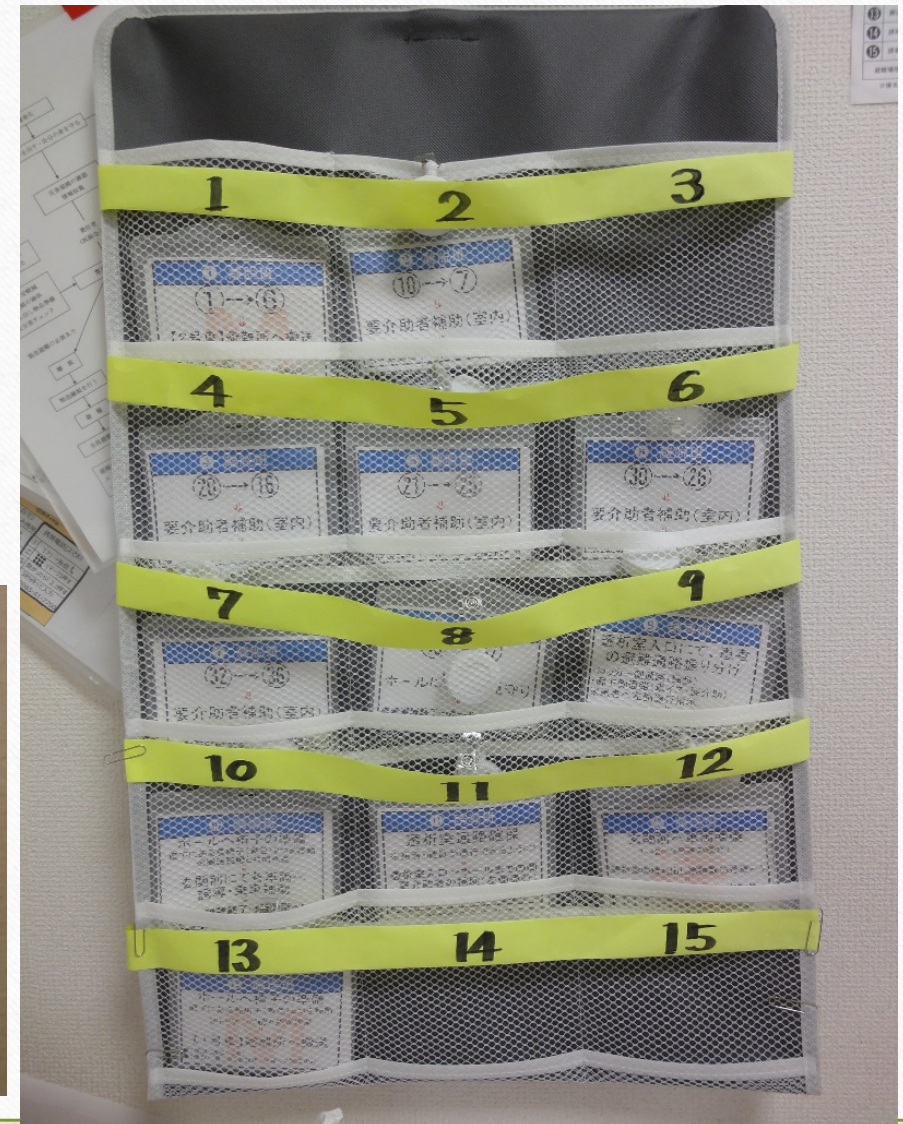
ふくどめクリニック

災害対策グループ

R8. 7.26

災害アクションカードとは・・・

透析中の災害発生時に各職員が
すべき行動・果たすべき役割を
簡潔に記したもの



目的

患者及び職員が安全に効率よく避難できる

達成するための目標

災害などが発生する前に、
職員の役割を決めておくことで、
患者の避難にかかる時間を短縮することを目指す。

当院のアクションカード説明

カード全体の説明

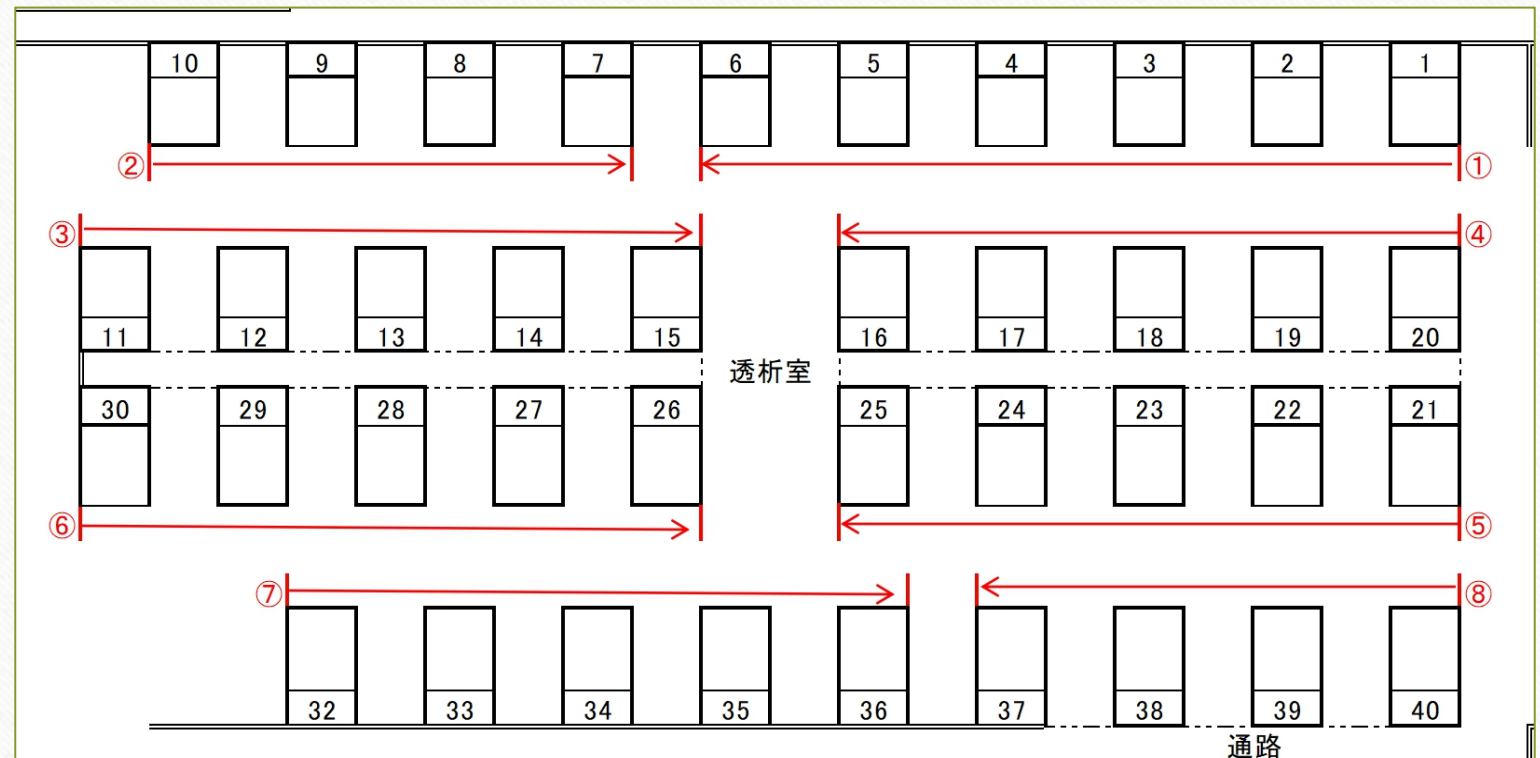
- ・ カードは15枚で構成、それぞれに役割が振り分けられている
- ・ 両面構成で、自然災害は青、火災は赤で役割が記載されている
- ・ 透析開始前に職員はカードを取り役割を確認する
- ・ カードの区分は、「離脱」「誘導」「搬送」で構成されている
(なお、火災時は「消火」「通報」が追加されている)

役割について

透析室のベッドを8区画に分け、
1区画(4～5台)1名の職員が
患者の離脱～避難の対応を行う。

離脱班

職員8名



避難経路

3か所 + 1

正面玄関



透析患者出入口



職員出入口



※ 状況によっては、透析室西側の窓も避難経路として考慮

役割について

避難所まで患者を車で搬送する。
搬送車は車イス乗車可能な3台で行う。

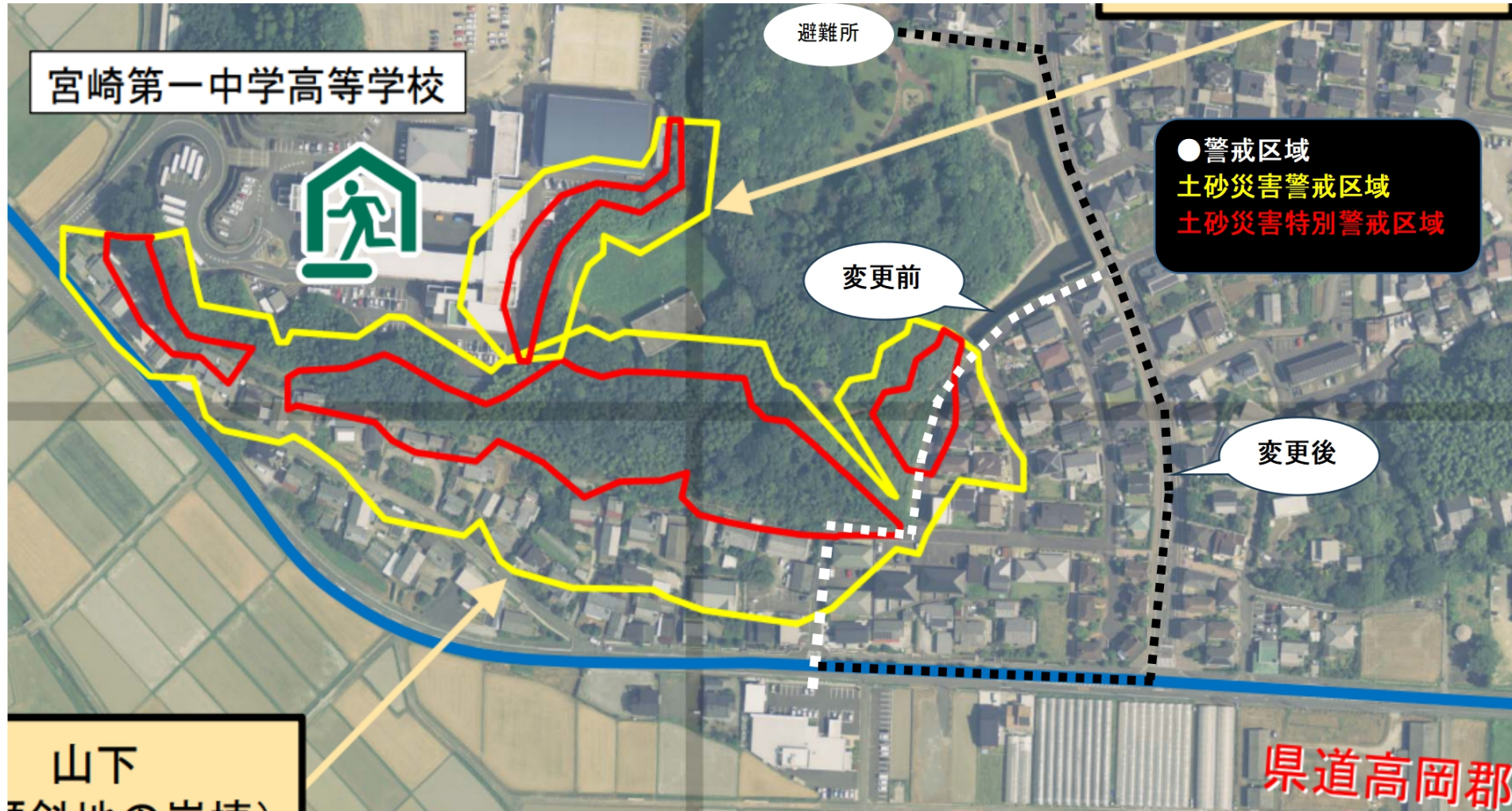
搬送班
3名

※搬送車への乗車は要介助者優先



避難経路について

避難場所：郡司分公園



当院では、2021年からアクションカードを活用した避難方法を採用。これまで被災された医療施設や、災害対策を実施されている透析施設などの情報を取り入れ、当院の医療スタイルに適した体制に確立できるよう前向きに取り組んでいる。

アクションカードの運用は、事象が起きてから「考える時間・作業を割り振る時間」など、実際に避難行動に移るまでの時間を短縮することができ、とても有効な方法だと考える。

今後も、本日の避難訓練などにより運用についての結果を解析し、問題点などの改善に努めていきたい。

ご清聴ありがとうございました

